

# 親切運動の取組について

学校名 高岡市立南星中学校

生徒数 476名

## 1 親切運動の取組の紹介

### (1) ふれあい食堂のボランティア参加

生徒会執行部と有志のボランティアで、ふれあい食堂での食事提供のボランティアに参加した。この活動では、地域子ども食堂にて、地域の方々と共に食事作りを協力して行い、お年寄りや子供たちに温かい食事を提供した。ボランティア活動を通じて、地域の人々との交流が深まり、貴重な経験をすることができた。特に印象的だったのは、お年寄りの方々との交流である。中学生の参加を大変喜んでくださり、活動中には積極的に会話を楽しんでくださった。ボランティア参加者も、その笑顔と和やかな雰囲気にも心打たれ、活動を通して新たなつながりを感じた。



この活動を通じて、食事提供だけでなく、地域社会との結びつきやコミュニケーションの大切さを実感した。今後も地域とのつながりを大切に、社会貢献を続けていきたい。

### (2) 頑張りや感謝を広げる「笑顔の木」

生徒一人ひとりの頑張りや嬉しかったことを広げる「笑顔の木」を行った。部活動の大会や合唱コンクール前、また普段の生活で感じた喜びを、付箋に書いて掲示し、生徒たちが共有できるようにした。最初の頃は高さが3メートルほどの数枚の葉しかない木だったが、日々の感謝や成果が付箋として集まり、最終的には多くの葉が茂る6メートルに達する木になった。木が成長する過程で、生徒たちの成長と絆の深まりを実感し、学校全体に明るい雰囲気が広がった。



### (3) 地域の小学校で挨拶運動

生徒会が中心となり、地域の小学校で朝の挨拶運動を行った。早朝から小学校に向かい、生徒会が主導となり、心地よい挨拶を届けた。この活動により、気持ちの良い1日のスタートを迎えることができた。同時に、小学生たちから元気な挨拶を受けることで、私たちも活力を得ることができた。



挨拶運動は、朝の清々しい風に吹かれる中、小学校の生徒たちと心を通わせる良い機会となった。今後も地域の協力と連携を深め、良い影響を与えられるような活動を継続していきたい。

## 2 親切運動に取り組んで

### ○ 取組の成果

(1)ふれあい食堂のボランティアや(3)挨拶運動など、生徒会として以前から取り組んでいる活動を引き続き行うことができた。地域の方とともに活動することで、地域への理解と所属感が生まれた。また、(2)「笑顔の木」では、生徒間の感謝や労いの言葉がけが増え、学校内が明るい雰囲気になった。

### ○ 課題と今後に向けて

新型コロナウイルス対策のため、しばらく実施できなかった地域との活動を実施することができた。今後も感染症対策に留意しながら、これまでの活動を継続して行っていく必要がある。



マスコットキャラクター  
ほしまる